

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒102-8455

住 所 東京都千代田区二番町8番地8

氏 名 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

代表取締役社長 阿久津 知洋

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 セブン-イレブン・ジャパン		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎市川崎区駅前本町1番地3 (セブン-イレブン川崎駅東口店)		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	フランチャイズ方式によるコンビニエンスストア「セブン-イレブン」の展開		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	9,117	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(実) 15,041 (調) 14,841	(実) 16,075 (調) 15,971	(実) 15,835 (調) 13,340	(実) 15,768 (調) 15,768	(実) 14,590 (調) 14,396
削減率		(実) -6.9% (調) -7.6%	(実) -5.3% (調) 10.1%	(実) -4.8% (調) -6.2%	(実) 3.0% (調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

	延床面積				原単位等の単位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度		
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	0.3169	0.3318	0.3276	0.3174		0.3074
活動量の値	47,455	48,436	48,326	49,670		-
排出量原単位等の削減率		-4.7%	-3.4%	-0.2%		3.0%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	基準年度に比べ店舗増加に伴うCO <sub>2</sub> 排出量の増加及び電力会社の排出係数増加に伴い、基準年度に比べ実排出量で6.9%、調整後排出量で7.6%増加傾向にある。店舗における省エネ意識の向上及び設備更新等を行い店舗辺りのエネルギー使用量を下げ目標を達成できるように努める。	
第2年度	基準年度に比べ電力会社の排出係数増加に伴い、基準年度に比べ実排出量で5.3%の増加となったが、調整後排出量においては10.1%の削減率となった。昨年度に引き続き、店舗における省エネ意識の向上及び設備更新等を行い店舗辺りのエネルギー使用量を下げ目標を達成できるように努める。	
第3年度	基準年度に比べ店舗数が6店舗増加、店舗内の設備の増加及び異常気象による空調使用量の増加により、電気使用量が増加しCO <sub>2</sub> 排出量としては実排出量として4.8%増加、調整後で7.6%増加した。ただし、設置可能店舗への太陽光発電の設置、設備更新による省エネ及び従業員による省エネ重点6項目の実施を行い原単位の増加量としては0.2%に抑えることができた。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		店舗数増加に伴うCO <sub>2</sub> 排出量の増加が大きく、また、店舗内の設備増加及び異常気象による空調使用量の増加が多く、省エネ設備更新や省エネ活動による削減量を上回ってしまい原単位ベースでも0.2%の増加となってしまった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		運用として店舗従業員への省エネ重点6項目の実施、設備投資として引き続き太陽光発電設置可能店舗への設置及び機器更新時に省エネ性能の高い機器を導入し1店舗辺りの省エネを行っていく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

CO <sub>2</sub> 排出量総量に関しては、毎年1%の削減を目標とする。3年間で3%の削減を目標とする。
---

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本部                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・創エネ対応 新店への太陽光パネル設置促進、大容量化の検討</li> <li>・省エネ対応 新店への省エネ設備の設置及び既存店に対し設備更新計画に基づいた省エネ設備への更新</li> <li>・省エネ教育 省エネ重点対策6項目を纏めた動画を店舗へ配信</li> </ul> </li> <li>●加盟店                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ対応 省エネ重点対策6項目に応じた省エネ活動の実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本部                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・創エネ対応：2022年度末76店に設置 発電量：598,849kWh/年</li> <li>・省エネ対応：各店舗設備の更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・IHフライヤーの更新：63店 / ・LED照明の更新：9店舗</li> <li>・老朽化空調の入替：1店舗</li> </ul> </li> <li>・省エネ教育：各店舗に「ちょっと省エネ動画」と出した動画を配信、店舗で実施できる省エネ行動を伝え、実施しやすい環境を整備します。</li> </ul> </li> <li>●加盟店                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ対応：各店舗に省エネ推進する「省エネリーダー」を選任し省エネ目標を設定し達成度を従業員全員で共有し省エネ意識を高めています。</li> </ul> </li> </ul>
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本部                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・創エネ対応：2023年度末77店に設置 発電量：691,489kWh/年</li> <li>・省エネ対応：各店舗設備の更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・IHフライヤーの更新：35店 / ・LED照明の更新：6店舗</li> <li>・老朽化空調の入替：1店舗 / ・ペットボトルウォーマの更新：4店舗</li> </ul> </li> <li>・省エネ教育：各店舗に「ちょっと省エネ動画」と出した動画を配信、店舗で実施できる省エネ行動を伝え、実施しやすい環境を整備します。</li> </ul> </li> <li>●加盟店                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ対応：各店舗に省エネ推進する「省エネリーダー」を選任し省エネ目標を設定し達成度を従業員全員で共有し省エネ意識を高めています。</li> </ul> </li> </ul>
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本部                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・創エネ対応：太陽光発電設備を2024年度末時点で78店に設置 発電量：703,237kWh/年</li> <li>・省エネ対応：各店舗設備の更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・IHフライヤーの更新：20店 / ・アイスケース上部フードの更新：6店舗</li> <li>・ペットボトルウォーマの更新：169店舗</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●加盟店                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ対応：各店舗に省エネ推進する「省エネリーダー」を選任し省エネ目標を設定し達成度を従業員全員で共有し省エネ意識を高めています。</li> </ul> </li> </ul>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>各設備の更新を積極的に行い、太陽光発電設備の設置店舗数を増加させることで、省エネに繋がる施策を実行することができた。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	新規店舗出店時において、太陽光パネルを設置できる状況であれば、設置を検討していく。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	太陽光を設置可能店舗に設置(2021年3月末時点で73店舗) 2021年度発電量: 502881kWh/年	2021年度
太陽光発電設備	太陽光を設置可能店舗に設置(2022年3月末時点で76店舗) 2022年度発電量: 598,849kWh/年	2022年度
太陽光発電設備	太陽光を設置可能店舗に設置(2024年3月末時点で77店舗) 2023年度発電量: 691,489kWh/年	2023年度
太陽光発電設備	太陽光を設置可能店舗に設置(2025年3月末時点で78店舗) 2024年度発電量: 703,237kWh/年	2024年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	○商品配送に伴う環境負荷の低減 ・配送車両に環境配慮型車両を導入
第1年度	○商品配送に伴う環境負荷の低減 ・配送車両に環境配慮型車両を導入
第2年度	○商品配送に伴う環境負荷の低減 ・配送車両に環境配慮型車両を導入 ・配送ルート効率化を実施
第3年度	○商品配送に伴う環境負荷の低減 ・配送車両に環境配慮型車両を導入 ・配送ルート効率化を実施

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	○セブン-イレブン記念財団(セブン-イレブンみどりの基金)を通じた環境市民団体への助成活動 ○CSRレポート・ホームページ等での情報発信 ○石油由来のプラスチック使用量の削減に取り組むため、お客様に提供するレジ袋はバイオマス素材30%配合環境配慮型のみを推奨 ○レジ袋については、ご不要の際はご辞退いただくなど、レジ袋削減に努めている ○ゴミ箱を店内に設置し、分別を促進 ○店頭でペットボトル回収機を設置、回収したペットボトルを使用し再生ペットボトルを使ったオリジナル商品を開発し販売しています。
第1年度	○セブン-イレブン記念財団(セブン-イレブンみどりの基金)を通じた環境市民団体への助成活動 ○CSRレポート・ホームページ等での情報発信 ○店舗における石油由来のプラスチックの削減施策としてスプーンなどのカトラリーは一部店舗で植物由来のバイオマス素材が配合された環境配慮型カトラリーに変更、また、店内の販促物を環境配慮型素材に変更しプラスチック使用量を12%削減しています。(追加実施) ○店舗における食品ロスの低減及び廃棄物の減量化として、「てまどりの推進」「食品リサイクル」「エシカルプロジェクト」「サステナブルな原材料の使用」を実施しています。(追加実施) ○店頭でペットボトル回収機を設置、回収したペットボトルを使用し再生ペットボトルを使ったオリジナル商品を開発し販売しています。
第2年度	○セブン-イレブン記念財団(セブン-イレブンみどりの基金)を通じた環境市民団体への助成活動 ○CSRレポート・ホームページ等での情報発信 ○店舗における石油由来のプラスチックの削減施策としてスプーンなどのカトラリーは一部店舗で植物由来のバイオマス素材が配合された環境配慮型カトラリーに変更、また、店内の販促物を環境配慮型素材に変更しプラスチック使用量を12%削減しています。(追加実施) ○店舗における食品ロスの低減及び廃棄物の減量化として、「てまどりの推進」「食品リサイクル」「エシカルプロジェクト」「サステナブルな原材料の使用」を実施しています。(追加実施) ○店頭でペットボトル回収機を設置、回収したペットボトルを使用し再生ペットボトルを使ったオリジナル商品を開発し販売しています。
第3年度	○サステナビリティレポートやホームページを通じて、積極的な情報発信を行っています。 ○環境配慮型の包装・容器への取り組みとして、バイオ原料を使用したPET容器への切り替えや紙製容器の導入、容器の蓋をトップシールに変更することで、プラスチック削減に貢献しています。 ○レジ袋削減活動として、配布の低減のためのお声がけや啓発ポスターの掲示を行い、レジ袋に対しても環境に配慮したバイオマス素材30%配合環境配慮型を推奨し、2050年にはプラスチック製レジ袋の使用量をゼロにする目標としています。

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	15,041 t-CO <sub>2</sub>	16,075 t-CO <sub>2</sub>	15,835 t-CO <sub>2</sub>	15,768 t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	8,419 KL	8,802 KL	8,795 KL	9,117 KL
事業所の数	265	268	264	271

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
セブンイレブン川崎中野島1丁目店 (他、270店)	神奈川県川崎市多摩区中野島1丁目18-3	15,041	16,075	15,835	15,768

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度